

本指導案は、国立教育政策研究所教育課程センターから評価等に関する資料が公表される前の、編集段階の教師用指導書を元に作成しております。  
 そのため、本時の目標やめあてについては、供給版の指導書と異なる部分があります。また、評価規準についても編集段階の指導書と同じ記述にしているため、5領域には分けておらず、評価観点のみで、毎時間記入してあります。ご了承ください。

## Unit 2 When is your birthday? (pp.18-25)

### 本単元におけるゴールとなる言語活動

「クラスみんながもっと仲よくなるために、誕生会で行うレクの年間計画を決めよう！」

指導計画 1 / 8時間 (pp.18-19)

本時目標：(仮)誕生日やほしいものについてのやり取りのおおよその内容を理解することができるようにする。

主な表現：When is your birthday? My birthday is～.

準備：指導者用デジタルブック、ピクチャーディクショナリー (PD)、教師用絵カード、巻末文字カード、ワークシート (WS)

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。</li> </ul>	
	<p><b>【Small Talk】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>pp.18-19を見て、どのような場面があるか指導者とのやり取りを通して、英語を聞いたり話したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>pp.18-19を見て、どのような場面が示されているか、慣れ親しんできた語彙や表現を用いて確認する。</li> <li>※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。</li> </ul>	
展開 30分	<p><b>【めあての確認】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(仮)誕生日やほしいものについてのやり取りのおおよその内容を理解しよう。</p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。</li> </ul>	
	<p><b>【Word Link】</b> PDの pp.14 - 15 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">月</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「月」の単語を復唱する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声を使って、「月」の単語を確認する。</li> <li>特に自分の誕生月についてよく聞き、言えるように指導する。</li> </ul>	PD 指導者用デジタルブック
	<p><b>【Let's sing】</b> Happy Birthday!</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>曲を聞き、歌えるところを歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度曲を流し、内容について質問する。</li> <li>PDの p.28 「年中行事」を見せてもよい。</li> <li>曲を再度流し、歌えるところを歌うように励ます。</li> </ul>	指導者用デジタルブック

	<p><b>【Let's try ①】</b> ポインティングゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言われた PD の単語に触る。</li> <li>・指導者の指す絵カードの単語を言う。</li> <li>・「月」のクイズの質問に答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者が言った PD の単語に触るよう指導する。</li> <li>・指導者が出した絵カードの単語を言うよう伝える。</li> <li>・「月」に関するクイズをする。 (例) What is the second month? When does summer vacation start?</li> </ul>	
	<p><b>【Let's Chant】</b></p> <p>①When is your birthday ?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャンツを聞き、歌えるところを歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一度チャンツを流し、内容について質問する。</li> <li>・チャンツを再度流し、歌えるところを歌うように励ます。</li> <li>・日付は次の時間に習うことを伝える。</li> </ul>	指導者用デジタルブック
	<p><b>【Starting Out】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・No.1～5 までの音声を聞いて、本体の A～E の□に順番に番号を記入する。</li> <li>・音声を聞いて分かったこと、気付いたことを WS に記入する。</li> <li>・聞き取れたこと、気付いたことなどを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの絵の場面を確認する。</li> <li>・No.1～5 までの音声を聞いて、A～E の□に聞こえた順に番号を記入させる。</li> <li>・答え合わせをする。</li> <li>・WS を配り、音声や映像を再度流し、分かったことや気付いたことを WS の 1 に記入するよう伝える。必要に応じて、複数回聞かせてもよい。</li> <li>・聞き取れたこと、気付いたことなどを尋ねる。</li> <li>・No.4(B)と No.2(A)の音声や映像をもう一度視聴させ、表現を確認する。</li> </ul> <p><b>【評価】</b> ○<input type="checkbox"/>知 (誕生日やほしいものについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる)</p>	指導者用デジタルブック  WS
文字指導 5分	<p><b>【Sounds and Letters】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字カードを机の上に並べる。</li> <li>・指導者が言う文字のカードを見せる。</li> <li>・指導者が示すカードの名前を言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットチャートで小文字の名前を確認する。</li> <li>・巻末の小文字カードを机の上に並べるよう伝える。</li> <li>・指導者は文字の名前を言い、児童にそのカードを指導者に見せるよう指示する。</li> <li>・指導者は絵カードを示し、児童に名前を言うよう伝える。</li> </ul> <p><b>【評価】</b> *<input type="checkbox"/>知 (小文字を読むことができる)</p>	指導者用デジタルブック  巻末文字カード  指導者用絵カード
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時をふり返り、言語に関することで気付いたこと等を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。</li> </ul>	

		<ul style="list-style-type: none"><li>・児童が発表した気付きに価値付けする。</li><li>・挨拶をする。</li></ul>	
--	--	---	--

## Unit 2 When is your birthday? (pp.18-25)

指導計画 2 / 8 時間 (pp.18-19)

本時目標: (仮) 誕生日やほしいものについてのやり取りのおおよその内容を理解することができるようにする。

主な言語材料: What do you want for~? I want ~. My birthday is ~. など

準備: ピクチャーディクショナリー (PD), 指導者用デジタルブック, 指導者用絵カード, ワークシート (WS)

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って, 挨拶したり, 体調等について答えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って, 挨拶したり, 体調等について尋ねたりする。</li> </ul>	
	<p><b>【Small Talk】</b></p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>その日の日付から, その月の誕生日の児童の話題へ</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習表現を使い, 本單元で中心となる語彙や表現も入れながら, 全体でやり取りしたり, 個に尋ねたりする。</li> <li>※全体でやり取りしながら, 個にも尋ねていくことで, 学級の実態や個の実態を把握できるようにする。</li> <li>様子を見て, 全体でのやり取りと同じテーマに沿って, ペアでやり取りする。</li> </ul>	
展開 32分	<p><b>【めあての確認】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0; text-align: center;"> <p>(仮) 誕生日やほしいものについてのやり取りのおおよその内容を理解しよう。</p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら, この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら, この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。</li> </ul>	
	<p><b>【Word Link】</b> PD の p.14 - 15 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">日付</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「日付」の単語を復唱する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声を使って, 「日付」の単語を確認する。</li> <li>特に自分の誕生月についてよく聞き, 言えるように指導する。</li> </ul>	<p>PD</p> <p>指導者用デジタルブック</p> <p>指導者用絵カード</p>
	<p><b>【Let's try ①】</b> ポインティングゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>言われた PD の単語に触る。</li> <li>指導者の指す絵カードの単語を言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者が言った PD の単語に触るよう伝える。</li> <li>指導者が出した絵カードの単語を言うよう指導する。</li> </ul>	
<p><b>【Let's Chant】</b></p> <p>①When is your birthday ?</p> <p>②What do you want ?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チャンツを聞き, 言えるところを言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度チャンツを流し, 内容について質問する。</li> <li>チャンツを再度流し, 言えるところを言うように励ます。</li> <li>①では, 最後に自分の誕生日を言うよう指導する。</li> </ul>	<p>指導者用デジタルブック</p>	

	<p><b>【Starting Out】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WSの1を見ながら、No.1～5の音声や映像を視聴する。</li> <li>・No.4(B)とNo.2(A)の音声や映像を視聴し、WSの2に答えを記入する。</li> <li>・答え合わせをする。</li> <li>・No.4(B)とNo.2(A)の音声や映像をもう一度視聴する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WSを配り、WSの1を確認した上で、No.1～5の音声や映像を視聴するよう指示する。</li> <li>・No.4(B)とNo.2(A)の音声や映像を視聴させ、WSの2に答えを記入するよう伝える。必要であれば複数回視聴させる。</li> <li>・答え合わせをする。</li> <li>・No.4(B)とNo.2(A)の音声や映像をもう一度視聴させ、表現を確認する。</li> </ul> <p><b>【評価】</b></p> <p>○<input type="checkbox"/>主 (誕生日やほしいものについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる)</p>	<p>指導者用デジタルブック</p> <p>WS</p>
	<p><b>【Let's Watch and Think】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声や映像を視聴して、それぞれの祭りが何月に行われているかを書き込む。</li> <li>・答え合わせをする。</li> <li>・音声や映像から分かったことを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDの「月」の単語(p.14-15)を確認する。</li> <li>・音声や映像を視聴させ、それぞれの祭りが何月に行われているかを聞き取り、答えを記入するよう伝える。</li> <li>・答え合わせをする。</li> <li>・音声や映像から分かったことや、オーストラリアやタイについて知っていることを尋ねる。</li> </ul> <p><b>【評価】</b> ○<input type="checkbox"/>知 (誕生日やほしいものについてのやり取りで使用される語句や表現に慣れ親しんでいる)</p>	<p>PD</p> <p>指導者用デジタルブック</p>
	<p><b>【Let's Listen ①】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声を聞き取り、答えを線で結ぶ。</li> <li>・答え合わせをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声を流して、線を結ぶよう指示する。</li> <li>・答え合わせをする。</li> </ul>	<p>指導者用デジタルブック</p>
<p>文字指導 5分</p>	<p><b>【Sounds and Letters】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文字カードを机の上に並べる。</li> <li>・指導者が言う文字のカードを見せる。</li> <li>・指導者が示すカードの名前を言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットチャートで小文字の名前を確認する。</li> <li>・巻末の小文字カードを机の上に並べるよう指導する。</li> <li>・指導者は文字の名前を言い、児童にそのカードを指導者に見せるように言う。</li> <li>・指導者は絵カードを示し、児童に名前を言うよう伝える。</li> </ul> <p><b>【評価】</b> *<input type="checkbox"/>知 (小文字を読むことができる)</p>	<p>指導者用デジタルブック</p> <p>巻末文字カード</p> <p>指導者用絵カード</p>
<p>まとめ 3分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時をふり返り、言語に関することで気付いたこと等を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。</li> </ul>	

		<ul style="list-style-type: none"><li>・児童が発表した気付きに価値付けする。</li><li>・挨拶をする。</li></ul>	
--	--	---	--

## Unit 2 When is your birthday? (pp.18-25)

指導計画 3 / 8 時間 (pp.20-21)

本時目標：(仮)誕生日やクリスマス、お正月にほしいものなどについて、友達と尋ね合うことができるようにする。

主な言語材料：When is your birthday? My birthday is May 5th. I want a yellow T-shirts. など

準備：指導者用デジタルブック、ピクチャーディクショナリー(PD)、ワークシート(WS)

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物	
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。</li> </ul>		
	<p><b>【Small Talk】</b></p> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の誕生日の話から、プレゼントでほしいもの話へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習表現を使い、本單元で中心となる語彙や表現も入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。</li> <li>※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。</li> <li>様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。</li> </ul>		
展開 32分	<p><b>【めあての確認】</b></p> <p>(仮)誕生日やクリスマス、お正月にほしいものなどについて、友達と尋ね合おう。</p>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。</li> </ul>		
	<p><b>【Let's Chant】</b></p> <p>①When is your birthday ?</p> <p>②What do you want ?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チャンツを聞き、歌えるところを歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度チャンツを流し、内容について質問する。</li> <li>チャンツを再度流し、歌えるところを歌うように励ます。</li> <li>①では、最後に自分の誕生日を言うよう指導する。</li> </ul>	指導者用デジタルブック	
	<p><b>【Let's listen ②】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音声を聞いて表に行事と日付を書く。</li> <li>答え合わせをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>PD の p.28 の「年中行事」を確認する。</li> <li>音声を聞かせ、「行事」と「日付」を表に書くよう伝える。</li> </ul>	PD	
	<p><b>【Let's try ④】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クリスマスとお正月に自分がほしいものを記入する。</li> <li>ペアでたずね合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリスマスとお正月に自分がほしいものを記入するよう伝える。</li> <li>AET (または児童) とデモンストレーションを行う。</li> <li>クリスマスとお正月にほしいものを尋ね、空欄に記入するよう伝える。</li> </ul>		

	<p><b>【Let's try ③】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生日にほしいものをペアでたずね合い、WS に記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AET（または児童）とデモンストレーションを行う。</li> <li>・児童の実態をふまえて設定した、育成を目指す姿について共通理解を図る。育成を目指す姿と、そうでない姿を、デモンストレーションを通して比較できるようにする。</li> <li>・誕生日にほしいものを尋ね合い、WS に記入するよう伝える。</li> <li>・中間のふり返りの前後で、尋ね合う内容を変えるよう指示する。</li> </ul> <p>例：1回目「誕生日プレゼント」 2回目「誕生日の夕食」等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・困り感のある児童に対し、個別に支援する。</li> </ul> <p><b>【評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎<input checked="" type="checkbox"/>知（誕生日にほしいものについてのやり取りで使用される語句や表現が身につけている）</li> <li>○<input type="checkbox"/>思（誕生日にほしいものについて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり、付け加えたりしながらやり取りしている）</li> </ul>	WS
	<p><b>【中間のふり返し】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って、活動をふり返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてや、ふり返る際の視点を再確認する。</li> <li>・活動の前半をふり返り、めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ、ほめる。</li> </ul>	
	<p><b>【Let's try ③】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中間のふり返しを生かし、同様に活動を続ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間のふり返しを生かし、活動を続けるよう指示する。</li> </ul>	WS
文字指導 5分	<p><b>【Sounds and Letters】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小文字の a～g の名前を言いながら書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットチャートで名前を確認する。</li> <li>・p.88 に小文字の a～g の名前を言いながら書くよう指示する。</li> </ul> <p><b>【評価】</b> *<input checked="" type="checkbox"/>知（小文字の a～g を書くことができる）</p>	指導者用デジタルブック
まとめ 3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時をふり返り、コミュニケーションの図り方や言語に関することで気付いたこと等を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。</li> <li>・児童が発表した気付きに価値付けす</li> </ul>	

		る。 ・挨拶をする。	
--	--	---------------	--

## Unit 2 When is your birthday? (pp.18-25)

指導計画 4 / 8 時間 (pp.22 - 23)

本時目標：(仮)誕生日とほしいものについて友達と尋ね合い、バースデーカードを作ることができるようにする。

主な言語材料：When is your birthday? My birthday is ～. What do you want for your birthday? など

準備：単元計画表，自己評価の観点表，指導者用デジタルブック，巻末コミュニケーションカード，ピクチャーディクショナリー (PD)，振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について答えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って，挨拶したり，体調等について尋ねたりする。</li> </ul>	
	<p><b>【Small Talk】</b></p> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の趣味や好きなことの話から，プレゼントでほしいもの話へ</li> <li>プレゼントでほしいもの話から，好きな色や，プレゼントを求める数の話へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習表現を使い，本單元で中心となる語彙や表現も入れながら，全体でやり取りしたり，個に尋ねたりする。</li> <li>※全体でやり取りしながら，個にも尋ねていくことで，学級の実態や個の実態を把握できるようにする。</li> <li>様子を見て，全体でのやり取りと同じテーマに沿って，ペアでやり取りする。</li> </ul>	
展開 32分	<p><b>【めあての確認】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(仮)誕生日とほしいものについて友達と尋ね合い，バースデーカードを作ろう。</p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら，この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。</li> </ul>	
	<p><b>【Let's Chant】</b></p> <p>①When is your birthday?</p> <p>②What do you want?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チャンツを聞き，歌えるところを歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度チャンツを流し，内容について質問する</li> <li>チャンツを再度流し，歌えるところを歌うように励ます。</li> <li>①では，最後に自分の誕生日を言うよう指導する。</li> </ul>	指導者用デジタルブック
<p><b>【Step 1】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モデル映像を視聴する。</li> <li>巻末コミュニケーションカードに自分や相手の名前を記入する。</li> <li>誕生日を尋ね合い，相手の誕生日をカードに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデル映像を見せて，【Step 3】の内容を確認する。特に自分が記入したカードは次時に相手に渡すため相手意識をもって書くよう指導する。</li> <li>巻末コミュニケーションカード (バースデーカード) を切って用意するよう伝える。</li> </ul>	指導者用デジタルブック 巻末コミュニケーションカード	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・バースデーカードを交換するペアを決める。これまで <b>Your Turn</b> で活動していない相手が好ましい。</li> <li>・<b>From</b> に自分の名前を, <b>To</b> に相手の名前を記入するよう伝える。最初の文字は大文字, それ以降は小文字で書くよう指導する。</li> <li>・<b>AET</b> (または児童) とデモンストレーションを行う。</li> <li>・ペアで誕生日をたずね合うよう指示する。</li> <li>・相手の誕生日を自分が持っているカードに記入するよう伝える。</li> </ul>	
	<p><b>【Step 2】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誕生日にほしいものをたずね合って, 相手がほしいものの絵を描く。</li> <li>・相手へのメッセージを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>AET</b> (または児童) とデモンストレーションを行う。</li> <li>・児童の実態をふまえて設定した, 育成を目指す姿について共通理解を図る。育成を目指す姿と, そうでない姿を, デモンストレーションを通して比較できるようにする。</li> <li>・ペアで誕生日にほしいものをたずね合うよう指示する。聞き取った相手のほしいものの絵をカードに描くよう伝える。</li> <li>・メッセージを日本語で記入するよう指示する。</li> <li>・困り感のある児童に対し, 個別に支援する。</li> </ul> <p><b>【評価】</b> ○<input checked="" type="checkbox"/> (バースデーカードを作る活動を通じて, 誕生日やほしいものなどについて, 他社に配慮しながら主体的に伝え合おうとしている)</p>	<p>巻末コミュニケーションカード</p>
	<p><b>【Let's try ②-1】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで誕生日についてのやり取りをする。</li> <li>・グループで誕生日チェインを作る。</li> <li>・正しい順番かどうかを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PD の pp.14 - 15 の「月」と「日付」の音声を聞かせる。特に自分の誕生日を言えるように確認する。</li> <li>・<b>AET</b> (または児童) とデモンストレーションを行う。</li> <li>・6名程度のグループで誕生日の順番に並んで誕生日チェインを作るよう指示する。</li> <li>・正しい順番かどうかを確認する。</li> </ul> <p><b>【評価】</b> ◎<input checked="" type="checkbox"/> (誕生日の日付についてのやり取りで使用される語句や表現が</p>	<p>PD</p>

		身に付いている)	
文字 指導 5分	<p><b>【Sounds and Letters】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小文字の o～t の名前を言いながら書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルファベットチャートで名前を確認する。</li> <li>p.89 に小文字の o～t の名前を言いながら書くよう指示する。</li> </ul> <p><b>【評価】</b>*<input type="checkbox"/> (小文字の o～t を書くことができる)</p>	指導者用デジタルブック
まとめ 3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時をふり返り，コミュニケーションの図り方や言語に関することで気付いたこと等を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時をふり返り，児童のよかったところをほめる。</li> <li>児童が発表した気付きに価値付けする。</li> <li>挨拶をする。</li> </ul>	

## Unit 2 When is your birthday? (pp.18-25)

指導計画 5 / 8 時間 (pp.23)

本時目標：(仮) バースデーカードの交換を通じて、誕生日とほしいものについて尋ね合うことができるようにする。

主な言語材料：When is your birthday? My birthday is ～. What do you want for your birthday? など

準備：指導者用デジタルブック、ピクチャーディクショナリー (PD)、

巻末コミュニケーションカード、ふり返しシート

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。</li> </ul>	
	<p><b>【Small Talk】</b></p> <p>本單元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>その日の朝ごはんや給食のメニューの話から、好きな食べ物の話へ</li> <li>好きな食べ物の話から、誕生日に食べたい物の話へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習表現を使い、本單元で中心となる語彙や表現も入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。</li> <li>※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。</li> <li>様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。</li> </ul>	
展開 30分	<p><b>【めあての確認】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(仮) バースデーカードの交換を通じて、誕生日とほしいものについて尋ね合おう。</p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</li> </ul> <p><b>【Step 3】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時に作成したバースデーカードを交換する。</li> <li>新たに2人分のバースデーカードを作り、交換する。</li> <li>もらったカードのうち1枚を p.34 に貼る。</li> </ul> <p>[会話モデル例]</p> <p>A: Hello. B: Hello. A: When is your birthday? B: My birthday is May 25th. A: What do you want for your birthday? B: I want a koala.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。</li> <li>AET (または、児童) とデモンストレーションを行う。指導者用デジタルブックを使ってもよい。</li> <li>児童の実態をふまえて設定した、育成を目指す姿について共通理解を図る。育成を目指す姿と、そうでない姿を、デモンストレーションを通して比較できるようにする。</li> <li>Happy birthday! / This is for you. / Here you are. Thank you.の表現を確認する。</li> <li>カードを渡す際、相手に宛てたメッセージを日本語で読むように設定してもよい。本活動を「英語によるやり取り」に留めず、メッセージを通した人</li> </ul>	<p>指導者用デジタルブック</p> <p>巻末コミュニケーションカード</p>

	<p>A: Happy birthday! This is for you. Here you are.</p> <p>B: Thank you.</p>	<p>間関係づくり・学級づくりの機会としてもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに2人分のバースデーカードを作り、交換することを伝える。</li> <li>・もらったカードのうち1枚を p.34 に貼ることを伝える。</li> <li>・児童の実態や時間によっては、絵を描く以外の方法を提示したり、絵を省きやり取りしたりするように指示してもよい。</li> </ul> <p>【評価】○<input type="checkbox"/>思 (バースデーカードを作って交換する活動を通じて、誕生日やほしいものなどについて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、伝え合っている)</p> <p>【評価】○<input type="checkbox"/>主 (バースデーカードを作って交換する活動を通じて、誕生日やほしいものなどについて、他者に配慮しながら主体的に伝え合おうとしている)</p>	
	<p>【中間のふり返し】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って、活動をふり返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って確認する。</li> <li>・活動の前半をふり返し、めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ、ほめる。</li> </ul>	
	<p>【Step 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中間のふり返しを生かし、同様に活動を続ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間のふり返しを生かし、活動を続けるよう指示する。</li> </ul>	
	<p>【Let's try ②-2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで誕生日についてのやり取りをしながら、クラス全員で誕生日チェーンを作る。</li> <li>・正しい順番かどうかを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PDの pp.14 - 15 の「月」と「日付」の音声を聞かせる。特に自分の誕生日を言えるように確認する。</li> <li>・AET (または児童) とデモンストレーションを行う。</li> <li>・クラス全員で誕生日の順番に並んで誕生日チェーンを作るよう指示する。</li> <li>・正しい順番かどうかを確認する。</li> </ul> <p>【評価】◎<input type="checkbox"/>知 (誕生日の日付についてのやり取りで使用される語句や表現が身に付いている)</p>	<p>PD</p>
<p>文字指導</p>	<p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小文字の u~z の名前を言いながら書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベットチャートで名前を確認する。</li> </ul>	<p>指導者用デジタルブック</p>

5分	く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・p.89に小文字のu～zの名前を言いながら書くよう指示する。</li> <li>【評価】*<input type="checkbox"/>知 (小文字のu～zを書くことができる)</li> </ul>	
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふり返しシートに記入する。</li> <li>・コミュニケーションの図り方に関する気づきや、言語に関することで気付いたこと等を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時を振り返り、児童のよかったところをほめる。</li> <li>・「聞くときに工夫したこと」「話すときに工夫したこと」を記入するよう声かけする。</li> <li>・児童が発表した気づきに価値付けする。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<p>ふり返しシート</p>

## Unit 2 When is your birthday? (pp.18-25)

指導計画 6 / 8 時間 (pp.23)

本時目標：(仮)慣れ親しんできた語句や表現を用いて、友達誕生日や誕生日会で行いたいレクを尋ね合って、年間の誕生日会レクリエーションの内容を決めることができるようにする。

主な言語材料：When is your birthday? My birthday is ～. What recreation do you like? I like ～. など

準備：指導者用デジタルブック、ピクチャーディクショナリー (PD)、オリジナルワークシート (WS)

ふり返しカード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。</li> </ul>	
	<p><b>【Small Talk】</b></p> <p>本単元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>休み時間に行った遊びから、話や好きな遊びの話へ</li> <li>これまでに行ったことのあるクラスレクの話から、遊んでみたいレクの話へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習表現を使い、本単元で中心となる語彙や表現も入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。</li> <li>※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。</li> <li>様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。</li> </ul>	
展開 35分	<p><b>【めあての確認】</b></p> <p>(仮)慣れ親しんできた語句や表現を用いて、友達誕生日や誕生日会で行いたいレクを尋ね合って、年間の誕生日会レクリエーションの内容を決めよう。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</li> </ul> <p><b>【Step 3 をアレンジした活動】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デモンストレーションを見て、活動の流れとポイントを理解する。</li> <li>教室を歩き回りながら声をかけ、やり取りを開始する。</li> <li>自分が担当している月の生まれかどうか相手にたずねる。</li> <li>その子がレクリエーションで何をしたいかたずねる。</li> <li>互いがたずね終わったら、また次の相手を探す。</li> </ul> <p>[会話モデル例] (たずねた相手が自分の担当月生まれ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返しを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>AET (または、児童と) デモンストレーションを行う。</li> <li>児童の実態をふまえて設定した、育成を目指す姿について共通理解を図る。育成を目指す姿と、そうでない姿を、デモンストレーションを通して比較できるようにする。</li> <li>活動の流れを確認する。</li> <li>各月で最も票が入ったレクリエーションを採用することを伝える。 (クラスの実態に応じて)</li> <li>困り感のある児童に対し、個別に支援する。</li> </ul> <p><b>【評価】</b>◎<input type="checkbox"/>思 (誕生日やクラス誕生日会</p>	WS

	<p>であった場合)</p> <p>A: Hello.</p> <p>B: Hello.</p> <p>A: When is your birthday?</p> <p>B: My birthday is May 25th.</p> <p>A: What recreation do you like?</p> <p>B: I like dodgeball.</p> <p>A: Me, too. Good. (Next your turn.)</p> <p>B: Thank you. Bye.</p> <p>[会話モデル例] (たずねた相手が自分の担当月生まれでなかった場合)</p> <p>A: Hello.</p> <p>B: Hello.</p> <p>A: When is your birthday?</p> <p>B: My birthday is May 25th.</p> <p>A: Ok. Thank you. (Next your turn.)</p> <p>B: Bye.</p>	<p>行いたいレクリエーションをたずね合う活動を通じて、学習した語句や表現から言いたいことを選択したり付け加えたりして、伝え合っている)</p> <p>【評価】◎<b>主</b> (活動を通じて、誕生日やクラス誕生会で行いたいレクリエーションについて、他者に配慮しながら主体的に伝え合おうとしている)</p>	
	<p>【中間のふり返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って、活動をふり返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてや、ふり返る際の視点に沿って確認する。</li> <li>・活動の前半をふり返り、めあてに沿って活動できていた児童の具体の姿を取りあげ、ほめる。</li> </ul>	
	<p>【Step 3 をアレンジした活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中間のふり返りを生かし、同様に活動を続ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中間のふり返りを生かし、活動を続けるよう指示する。</li> </ul>	WS
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各月の担当で集まり、最も票が入ったレクリエーションを確認する。</li> <li>・各月で最も票が入ったレクリエーションを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各月の担当グループに調査結果をたずねる。</li> <li>・12 か月までの結果をまとめ、それぞれの月の誕生会で行うレクリエーションを決定する。</li> </ul>	
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふり返りカードに記入する。</li> <li>・コミュニケーションの図り方に関する気づきや、言語に関すること等気付いたこと等を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時をふり返り、児童のよかったところをほめる。</li> <li>・「聞くときに工夫したこと」「話すときに工夫したこと」を記入するよう声かけする。</li> <li>・児童が発表した気づきに価値付けする。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<p>ふり返りカード</p>

## Unit 2 When is your birthday? (pp.18-25)

指導計画 7/8時間 (pp.24-25)

本時目標：(仮)世界の一年の行事や祝日について考え、世界と日本についての理解を深める。

主な言語材料：My birthday is ～. ～ is in …. I'm from～. I live in ～. I want to be～. など

準備：単元計画表、指導者用デジタルブック、ふり返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。</li> </ul>	
	<p><b>【Small Talk】</b></p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本単元につながる Small Talk として考えられる例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本で行われている伝統的な行事の話から、自分の好きな行事の話へ</li> <li>世界で行われている行事の話</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習表現を使い、本単元で中心となる語彙や表現も入れながら、全体でやり取りしたり、個に尋ねたりする。</li> <li>※全体でやり取りしながら、個にも尋ねていくことで、学級の実態や個の実態を把握できるようにする。</li> <li>様子を見て、全体でのやり取りと同じテーマに沿って、ペアでやり取りする。</li> </ul>	
展開 35分	<p><b>【めあての確認】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(仮)世界の一年の行事や祝日について考え、世界と日本についての理解を深めよう。</p> </div>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。</li> </ul>	
	<p><b>【ことば探検】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ケーキ」と「プレゼント」について、4線の上にローマ字を書き、ローマ字と英語のつづりを比べる。</li> <li>どんな違いがあるのかを記入して、発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ケーキ」と「プレゼント」について、4線の上にローマ字を書くよう伝える。児童の実態によっては、教科書 p.85 を見せてもよい。</li> <li>ローマ字と英語のつづりを比べ、どんな違いがあるか記入するよう伝える。</li> <li>ヘボン式のローマ字は、日本語を外国の人が、日本語に誓い発音で読むためのものであり、英語とは異なるものであることを伝える。</li> <li>必要に応じて、その他の語彙を扱う。</li> </ul>	
	<p><b>【日本のすてき】</b> 村雨辰剛さん</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>村雨さんについての映像や音声を視聴し、おおよその内容を理解する。</li> <li>空欄に答えを記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まず全体を1度流し、その映像や音声を通じて、村雨さんがどんな仕事をしているか聞き取り、答えを空欄に日本語で記入させる。</li> </ul>	指導者用デジタルブック

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 答え合わせをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 村雨さんの仕事が庭師(gardener)であることを確認する。</li> <li>・ もう一度視聴させ、分かったことを記入するよう伝える。児童の実態に応じて、複数回視聴させてもよい。</li> </ul> <p>【評価】</p> <p>*<input checked="" type="checkbox"/> (主体的に世界と日本についての理解を深めようとしている)</p>	
	<p>【Do you know?】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本全国の、あるいは住んでいる地域の行事について考え、発表する。</li> <li>・ 紙面に掲載されている行事について予想し、発表する。</li> <li>・ 映像などを視聴し、祝日や行事の音声に慣れ親しむ。</li> <li>・ クイズの答えを予想し、空欄に答えを記入する。</li> <li>・ 答え合わせをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1月から12月までの日本全国の、あるいは住んでいる地域の行事について尋ねる。</li> <li>・ 紙面の1月～12月に示されている国旗と写真から、国名とどんな行事であるかを予想するよう指示し、尋ねる。</li> <li>・ 各行事の概要を説明するとともに、映像などを視聴させながら、それぞれの祝日や行事の英語による音声に慣れ親しめるよう指導する。</li> <li>・ クイズの答えを予想し、空欄に答えを記入するよう伝える。</li> <li>・ 答え合わせをする。</li> <li>・ 協力が得られれば、AET や IUI の国の行事や祝日についての資料も準備し、紹介する。</li> </ul> <p>【評価】 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> (主体的に世界の一年の行事や祝日について知ろうとし、世界と日本についての理解を深めようとしている)</p>	
<p>まとめ 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ふり返しカードに記入する。</li> <li>・ 文化や風習に関する気付きや、言語に関する気付きを発表する。</li> <li>・ 疑問に思ったことや聞きたいことについて質問する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童の発表や気付きをまとめたり、日本の文化との同異を整理したりする。</li> <li>・ 児童が発表した気付きに価値付けする。</li> <li>・ ふり返しにおいて、もっと深く知りたいことが出た場合は、それを拾い上げ、次回の Over the Horizon に関連付けるようにする。</li> <li>・ 挨拶をする。</li> </ul>	<p>ふり返しカード</p>

## Unit 2 When is your birthday? (pp.18-25)

指導計画 追加1時間 [横浜の時間] (pp.24-25)

本時目標：(仮)世界の一年の行事や祝日について調べることを通して、日本の実態と比較しながら、世界と日本についての理解を深める。

準備物：単元計画表、世界地図、図書・資料、PCもしくはタブレット、オリジナルワークシート (WS) など

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 3分	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。	
展開 37分	<p>【めあての確認】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     (仮)世界の一年の行事や祝日について調べることを通して、日本の実態と比較しながら、世界と日本についての理解を深めよう。                 </div> <p>・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</p>	・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。	
	<p>【調べ学習】</p> <p>・調べ学習の対象を選択する</p> <p>①世界の行事 ②世界の祝日</p> <p>・調べたことをまとめる手段を選び、資料を作成する。 例；WS, ポスター, 新聞, タブレット (プレゼンテーションソフト使用) 等</p>	<p>・行事や祝日に関する他国の文化の学習を通して、自分たちの国や地域の行事や祝日と比較することで、アイデンティティの育成や高まりにつなげる。</p> <p>・興味をもった文化・風習等と出会う機会をつくる。</p> <p>・学校図書館やPCルーム等、調べ学習に適した学習環境を整える。</p> <p>・困り感のある児童に対し、個別に支援する。</p> <p>【評価】○<input checked="" type="checkbox"/>主 (活動を通じて、自分の関心ごとの探求に向かって主体的に取り組んでいる)</p>	世界地図 図書・資料 PC もしくは タブレット WS
まとめ 5分	<p>・ふり返りカードに記入する。</p> <p>・文化や風習に関する気付きや、言語に関する気付きを発表する。</p> <p>・疑問に思ったことや聞きたいことについて質問する。</p>	<p>・児童の発表や気付きをまとめたり、日本の文化との同異を整理したりする。</p> <p>・児童が発表した気付きに価値付けする。</p> <p>・ふり返りにおいて、もっと深く知りたいことが出た場合は、それを拾い上げ、次回の <b>Over the Horizon</b> に関連付けるようにする。</p> <p>・挨拶をする。</p>	ふり返りカード

## Unit 2 When is your birthday? (pp.18-25)

指導計画 8 / 8 時間 (pp.24-25)

本時目標：(仮)世界の一年の行事や祝日について調べたことの発表を通して、日本の実態と比較しながら、世界と日本についての理解を深める。

主な言語材料：This is ～. ～is in…。 Do you know～? I like ～. など

準備物：世界地図、図書・資料、PC もしくはタブレットなど

時間	児童の活動	指導者の活動	準備物
導入 3分	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について答えたりする。	・慣れ親しんだ表現を使って、挨拶したり、体調等について尋ねたりする。	
展開 37分	<p><b>【めあての確認】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     (仮)世界の一年の行事や祝日について調べたことの発表を通して、日本の実態と比較しながら、世界と日本についての理解を深めよう。                 </div> <p>・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもつ。</p>	<p>・本時のめあて・ふり返りを行う視点を確認しながら、この時間で自分ができるようにすることや意識することの見通しをもてるようにする。</p>	
	<p><b>【本時の学習についての確認】</b></p> <p>・本時で行う中心となる言語活動・めあて・ふり返りを行う視点を知る。</p> <p><b>【Challenge をアレンジした活動】</b></p> <p>・自分が調べた他国の行事や祝日について、資料を示しながら発表する。 [会話モデル例]</p> <p>A: Hello. Do you like cats? This is cat festival in Belgium. It's exciting! Thank you.</p> <p>・発表を聞きながら、他国の文化等について日本との比較を通して、気付いたことや分かったことを記入する。</p> <p>・友達の発表を聞きながら、日本の実態と比較することを通して、共通点や相違点を見出す。</p>	<p>・本時で行う中心となる言語活動・めあて・ふり返りを行う視点を伝える。</p> <p>・行事や祝日に関する他国の文化の学習を通して、自分たちの国や地域の行事や祝日と比較することで、アイデンティティの育成や高まりにつなげる。</p> <p>・興味をもった文化・風習等と出会う機会をつくる。</p> <p>・困り感のある児童に対し、個別に支援する。</p> <p>・児童がまとめた資料は、実態に応じて廊下や学校図書館等に掲示してもよい。</p> <p><b>【評価】</b> ○<input checked="" type="checkbox"/>主 (活動を通じて、自分の関心ごとの探求に向かって主体的に聞いたり、質問したりしている)</p>	児童が発表する際に使用する資料等
まとめ 5分	<p>・ふり返りカードに記入する。</p> <p>・文化や風習に関する気付きや、言語に関する気付きを発表する。</p> <p>・疑問に思ったことや聞きたいことについて質問する。</p>	<p>・児童の発表や気付きをまとめたり、日本の文化との同異を整理したりする。</p> <p>・児童が発表した気付きに価値付けする。</p> <p>・ふり返りにおいて、もっと深く知りたいことが出た場合は、次回の Over the Horizon に関連付けるようにする。</p>	ふり返りカード

		・挨拶をする。	
--	--	---------	--